

作成団体・名称	内容
<p>① 神戸大学</p> <p>これからの治療・ケアに関する話し合い -アドバンス・ケア・プランニング-</p>	<p>市民向けの啓発リーフレット（記入形式）（対象※：①、②、④）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療体制整備事業にて作成 記入シートはステップ1から5にかけて、ACPのプロセスに沿って進めていく内容 <ol style="list-style-type: none"> もしもの時に、大切にしたいことを考える 信頼できる人（代理意思決定者）は誰かを考える 主治医に病状や必要なケアや治療について質問する 治癒不可能な病気になった時のことを考え、話し合う 考えた、話し合った内容を医療・介護従事者に伝える。
<p>② 京都市 (京都市地域包括ケア推進機構)</p> <p>考えてみましょう 「人生の終い支度」と医療 -あなたとあなたの大切な人のために-</p>	<p>市民向け啓発リーフレット、解説編（対象※：②、④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ステップ1、2 人生の最期、もしもの時のことを考え、家族等と話し合うことの大切さについての啓発 ステップ3 1、2を踏まえて、医療・介護関係者との話し合い（ACP）や事前指示書作成への流れ 何度も繰り返し話し合うプロセス <p>事前指示書（対象※：①）</p> <ul style="list-style-type: none"> 記入の手引きがあり、人生の最終段階に行われる可能性のある医療やケアに関する説明あり 何度でも書き直せる、撤回もできる 救急車の使用に関する啓発あり 医療介護関係者に見せて、共有しておくこと 分かりやすい場所に保管する、保管場所を周囲に伝えておくこと 内容は、人生の最終段階に行われる可能性のある医療やケアの方法、人生の最期を過ごす療養の場所等
<p>③ 池田市 (池田市医師会、池田市立市民病院)</p> <p>あなたが伝えたいこと あなたに聞いておきたいこと ともに医療を考えるためのガイドブック</p> <p>私の医療に対する希望</p>	<p>市民向け啓発リーフレット（記入形式）（対象※：①、②、④）</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療ケアチームと繰り返し話し合うことの大切さ 話し合うことで本人の人生観や価値観を家族、医療関係者が把握して終末期の医療、ケアに生かすことができるメリット 「医療、ケアチームに教えてほしいこと」 本人の生い立ちから現在にかけての人生観や価値観を書くシート このリーフレットをきっかけとして、医療、ケアチームとの話し合いを促している <p>事前指示書（対象※：①）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容は、人生の最終段階に行われる可能性のある医療やケアの方法、急変時対応、人生の最期を過ごす療養の場所、代理意思決定者の希望等

対象※：資料1－2「市民への情報提供や啓発の在り方に関する参考資料」における普及・啓発の対象

① 自分ごととして考える時期にある方

② 家族等

③ 医療ケアチーム

④ 国民全体